

2022年12月21日

各位

会社名 東京センチュリー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 馬場 高一  
(コード番号 8439 東証プライム市場)  
問合せ先 広報IR部長 山下 圭輔  
(TEL03-5209-6710)

### カーボンニュートラルに向けた取り組み 再生可能エネルギー由来の電気導入について

当社は2022年9月に「2040年度カーボンニュートラル方針」を宣言し(\*1)、「GXリーグ基本構想」に賛同表明しております。現在様々な角度からCO<sub>2</sub>削減施策の検討を進めておりますが、第一弾の取り組みとして2023年1月より、当社およびグループ会社が入居する秋葉原所在のビル3棟(以下、「秋葉原3ビル」)(\*2)における使用電気の100%を再生可能エネルギー由来に変更いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

再生可能エネルギー由来の電気導入にあたっては、主として、当社グループ会社の京セラ TCL ソーラー合同会社(以下、「KTS」)が全国に展開する太陽光発電所の再生可能エネルギーを非化石証書購入スキームにより活用いたします。なお、秋葉原3ビルで再エネ化される電気(2021年度実績)の年間CO<sub>2</sub>排出量は約930t-CO<sub>2</sub>(\*3)となります。

当社は、引き続き自社のCO<sub>2</sub>排出削減(Scope1.2)の施策を進めるとともに、お取引先のCO<sub>2</sub>排出削減(Scope3)のニーズに確りと対応することにより、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。今後とも「金融×サービス×事業」という当社独自のビジネスモデルを推進するほか、GX(グリーン・トランスフォーメーション)など気候変動への対応に注力することにより、更なる事業の成長を実現してまいります。

(\*1) 2022年9月1日付ニュースリリース「[2040年度カーボンニュートラル方針について](#)」をご参照ください

(\*2) 富士ソフトビル、秋葉原UDX、日土地御徒町ビル

(\*3) 環境省調査による令和2年の一般家庭平均の年間CO<sub>2</sub>排出量(電気使用)は1.88t-CO<sub>2</sub>であり、一般家庭約500世帯分の年間CO<sub>2</sub>排出量(電気使用)に相当します

#### 【京セラ TCL ソーラー合同会社が展開する太陽光発電所】



以上